

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
 本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	一側感音難聴の実態調査			
2. 対象患者	当院を初診された一側の中等度以上の感音難聴の患者様			
3. 対象となる期間	2018年4月1日		～	2020年3月31日
4. 実施診療科等	耳鼻咽喉科			
5. 研究責任者	氏名	佐々木 亮	所属	耳鼻咽喉科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 研究責任者 山嵜達也			
7. 研究の意義	この研究の成果は、今後の一側感音難聴の実態調査研究の発展に寄与することが期待されます。したがって、将来的に一側感音難聴への対策が進むことで、一側性難聴者のQOLの改善が得られる可能性があります。			
8. 研究の目的	一側性難聴は本邦では日常生活や学校教育に支障がないとこれまでは言われてきました。しかし近年、一側性難聴の日常生活に与える影響が海外から多く報告され、海外では一側聾の方に対する人工内耳手術が認可されつつあります。国内でも難聴議連を中心に一側性難聴への人工内耳の議論がなされるようになってまいりました。このような背景から、一側性難聴の実態(頻度、難聴原因、日常生活上の問題、介入と成績等)を調べ、一側性難聴に対する診療指針を作成することが必要となっております。従来小児では就学時頃まで一側性難聴の診断は困難でしたが、近年では一側性難聴の1/4が新生児聴覚スクリーニングで発見されるようになりました。乳幼児での正確な頻度と診療実態を調べることが可能となっており、今回全国的に一側性難聴のアンケート調査を行い、本邦における実態を調査することにいたしました。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	日本耳鼻咽喉科専門医研修施設及び共同研究機関研究責任者を含めた日本聴覚医学会代議員に対して、アンケート調査を行います。アンケートでは対象となる患者さんの、年齢・性別・原因疾患・重症度・介入(治療)の有無・治療経過の詳細を回答いただきます。回答いただいたデータは紙面または、匿名化の上パスワードロックのかかったUSBメモリーにて東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科に送付します。東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科でデータを集計・解析します。			
10. 個人情報の保護	収集した情報・データは、東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科に送付され解析・保存されますが、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにします(このことを匿名化といいます)。匿名化した上で東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科へパスワードロックのかかったUSBなどの媒体を用いて送付されます。東京大学医学部附属病院ではファイルサービス(パスワードロックのかかったサーバー内)で厳重に保管します。			
11. 利益相反に関する状況	この研究に関する費用は、日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業「全国調査による一側性聴覚障害者の実態把握および診断・治療指針の作成に関する研究」から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座 佐々木 亮			
	電話	0172-39-5099	FAX	0172-39-5100